※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	「体系古典文法　十訂版」（数研出版）、「体系漢文　三訂版」（数研出版） 「五訂版　体系古典文法準拠ノート」（数研出版） 「改訂版　体系漢文　準拠ノート」（数研出版） 「グランステップ古典（古文・漢文）1.5」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・必ず丁寧な予習を行ってから授業に臨みましょう。なお、予習ノートをはじめとする家庭学習の成果物は定期的に提出してもらいます。日々少しずつで構わないので、計画的に取り組みましょう。
・授業は「教え合い」を目標とします。新出の知識がたくさん登場して大変かもしれませんが、最終的には他者に教えることを意識し、ノートの取り方を工夫するなど、授業には主体的に参加してください。
・古典は音読も重要です。少しでも古典世界に親しむためにも、授業内外を問わず、音読しましょう。
・文学的な文章は登場人物の心情を理解できるようになることを目標として、本文を読みましょう。

2　学習の到達目標

我が国の言語文化の担い手としての自覚を養い、文学的な文章への理解を深めるために必要な資質・能力を、次のとおり育成することをめざす。
（１）文法や語彙を理解し、文章読解に役立てられるようにする。
（２）時代の異なる文学的文章を読むことで、異時代人の生活や文化を想像するとともに、現代文化との異同について自らの意見を伝えられるようにする。
（３）計画的で継続的な学習を通して読書や言語そのものに親しみを持つことで、我が国の言語文化の担い手としての自覚を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典文法や漢文の句法、その他文章読解に必要な語彙を理解し、文章読解に役立てている。	時代の異なる文学的文章を「読む」ことで異時代人の生活や文化を想像できている。 また、現代文化との異同について思考を及ばせ、自らの意見を「書く」ことや「話す」ことで他者に伝えている。	我が国の言語文化の担い手としての自覚を養うために、計画的・継続的な学習を通して、読書や言語に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古典を現代の言葉で書き換える 漢文の訓読に親しむ ［教材］ （古文） 『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」 （漢文） 『戦国策』「漁夫之利」	a：古典の世界に親しむために必要な文語や訓読のきまりや、古典特有の表現などについて理解することができる。 b[書]：用言を主として、基本的な内容について、古典を現代語に書き換えられる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	文法を理解する ［教材］ （古文） 『伊勢物語』「芥川」 『徒然草「神無月のころ」	a：用言や助動詞について理解することができる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、作者の意図を汲み取り、自分の考えにいかそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	寓話から教訓を読み取る ［教材］ （漢文） 『戦国策』「借虎威」 『十八史略』「管鮑之交」	a：句形の構造について理解している。 b[読]：寓話的な漢文から教訓を読み取ることで、自らの考え方を深めることができる。 c：積極的に古典の理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
二学期	和歌の修辞技法を理解する ［教材］ （古文） 『土佐日記』「門出」 『伊勢物語』「筒井筒」 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 『平家物語』	a：和歌の修辞法について理解することができる。 和歌、短歌、俳句を通して、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深めている。 b[読]：和歌、短歌、俳句の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 軍記物語の読解を通して、歴史上の出来事を理解し、その出来事に関わる人々の心情を理解することができる。 c：我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。 積極的に他者に自らの解釈を伝えようとするとともに、軍記物語の読解の感想を的確に伝えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート
	古典世界の文化を理解し、登場人物や作者の心情を理解する ［教材］ （漢文） 『十八史略』「鶏口牛後」 漢詩 「送元二使安西」「八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九」	a：漢詩の構造について理解し、これまで学習した文法を読解に役立てられる。 b[読]：古典世界の人々の感情の機微を理解することで、自分の感受性を深めることができる。 c：史伝や詩から読み取れる古典世界と現代との異同について積極的に意見を述べ、他者と協働し、古典世界への理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

三学期	古典の随筆を読み解く ［教材］ （古文） 『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」「中納言参り給ひて」	a:既習事項を基に自力で古典の読解を行える。 b[読]: 古典世界の人々の感情の機微を理解することで、自分の感受性を深めることができる。 c:教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	定期考査	定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	漢文世界と現代日本のつながりを考える ［教材］ （漢文） 『韓昌黎文集』「雑説」	a:既習事項を踏まえ、本文の内容を正確に理解できている。 b[読]:漢文から思想を読み取ることで、自らの考え方を深めることができる。 c:漢文世界と現代日本とのつながりについて積極的に考え、他者の意見をふまえて、自らの見解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　８～15　）時間

・読むこと　…　（　90～98　）時間